# 令和４年度　第５回理事会

日　時：令和４年８月５日（金）１４：２０～

場　所：林木育種センター大会議室（日立市）

## Ⅰ．報　告

１．第１４回国立研究開発法人協議会総会について（非公表）［研究企画科］

２．令和４年度第１回水源林造成業務リスク管理委員会概要について（非公表）
［森林整備センター］

３．「令和４年７月１４日からの大雨による災害にかかる災害救助法の適用について」にかかる森林保険事務の対応について　［森林保険センター］

## Ⅱ．その他

１．今後の行事予定について

２．主要行事

３．令和４年７月に森林総合研究所が広報した研究成果

理　事　会　資　料
令和４年８月５日
森林保険センター

「令和４年７月 14 日からの大雨による災害にかかる災害救助法の適用について」にかかる森林保険事務の対応について

## １．概　　要

令和４年７月 14 日からの大雨により災害が発生し、災害救助法が適用された地域を対象に、令和４年７月 19 日付けで森林保険契約の継続手続きの猶予措置を定めた通知を発出（別添）。

## ２．通知内容

○保険契約者が保険期間満了の 30 日前までに継続による契約の申込みができなかった場合であっても、令和５年２月 28 日までに申出があった場合は、同日まで継続による契約の締結手続きを猶予。

○猶予期間内に保険料を添えて継続による契約の申込みが行われた場合は、前回契約と同一の契約条件により、前回契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとする。

なお、今後新たに本災害において災害救助法を適用する市区町村が追加された場合及び令和４年 10 月 31 日までに今回の災害とは異なる災害において災害救助法を適用する決定がされた場合も同様の対応とする。

## ３．対　　象

災害救助法の適用があった宮城県２市町（大崎市及び宮城郡松島町）

なお、当該２市町の近隣等に所在する市町村で、本災害により森林保険の継続契約の手続きを行うことが困難と判断される事情がある場合についても柔軟に対応。

## ４．参　　考

このほかの継続手続き猶予に係る措置中の事案については下記のとおり。

○令和４年福島県沖を震源とする地震（宮城県及び福島県の全市町村）

（別　添）

４森林保業第１８４号
令和４年７月１９日

道府県森林組合連合会 代表理事会長 様
東京都森林組合 代表理事組合長 様
大阪府森林組合 代表理事組合長 様

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林保険センター所長　　吉永　俊郎

「令和４年７月１４日からの大雨による災害にかかる災害救助法の適用について」にかかる森林保険事務の対応について

令和４年７月１４日からの大雨により災害が発生し、宮城県は２市町に対して、災害救助法を適用する決定がされました（別紙１参照）。

つきましては、当該２市町に所在する森林を保険の目的とする保険契約及び当該２市町を住所とする保険契約者又は被保険者の継続による保険契約について下記のとおり対応することとします。

また、今後新たに本災害において災害救助法を適用する市区町村が追加された場合及び令和４年１０月３１日までに今回の災害とは異なる災害において災害救助法を適用する決定がされた場合も同様の対応とします。

なお、当該２市町の近隣等に所在する市町村で、今回の大雨による災害により森林保険の継続契約の手続きを行うことが困難と判断される事情がある場合は、森林保険センターに個別に相談して下さい。

記

保険契約者が保険期間満了の３０日前までに継続による契約の申込みができなかった場合であっても、令和５年２月２８日までに申出（別紙２参照）があった場合は、同日まで継続による契約の締結手続きを猶予します。

また、猶予期間内に保険料を添えて継続による契約の申込が行われた場合は、前回契約と同一の契約条件により、前回契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとします。

以上

【別紙１】

７月 16 日 15 時 00 分公表

令和４年７月 16 日
内閣府（防災担当）

# 令和４年７月１４日からの大雨による災害にかかる災害救助法の適用について

１．災害の概要

令和４年７月 14 日からの大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、宮城県は２市町に災害救助法の適用を決定した。

| 災害救助法<br>適用市町村 | 法適用日 | 被害の状況等 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 【宮城県】<br>大崎市<br>（おおさきし）<br>宮城郡松島町<br>（みやぎぐんまつしままち） | ７月 15 日 | ７月 14 日からの大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じており、継続的に救助を必要としている。 | 災害救助法施行令第１条第１項第４号適用 |

２．これまでにとられた措置

・避難所の設置　等

本件問合せ先
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（被災者生活再建担当）付
阿部、安東、齋藤、高橋、富田、佐々木
TEL　03-5253-2111（内線51276）
03-3503-9394（直通）

【別紙２】

令和　　年　　月　　日

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 理事長　殿

## 森林保険に係る申出書

申出者住所：

申出者氏名：　　㊞（自署の場合は省略可）

森林保険に係る手続きについて、下記のとおり令和５年２月２８日までの猶予を申し出ます。

記

該当手続き　：森林保険契約の継続手続き
理由　　：森林保険契約を継続し災害に対する補償を維持するため
証書番号　　：
保険契約者　：
被保険者　　：　　（外　　名）

令和４年８月理事会資料
国 立 研 究 開 発 法 人
森 林 研 究 ・ 整 備 機 構

# 今後の行事予定について

| 日　付 | 研究 | 整備 | 保険 | 行　事　名　等 | 場　所　等 |
|---|---|---|---|---|---|
| 8月3日 | | | ○ | 統合リスク管理委員会 | 森林保険センター |
| 8月5日 | ○ | | | 盲学校生のための特別観察会 | 多摩森林科学園 |
| 8月31日 | ○ | | | 北海道林業林産試験研究機関連絡協議会 総会 | 北海道立林業試験場（美唄市） |
| 9月1日～2日 | ○ | | | 関西地区林業試験研究機関連絡協議会 総会 | ピュアリティまきび（岡山市） |
| 9月21日 | ○ | ○ | | 令和4年度林業研究・技術開発推進北海道ブロック会議 | かでる２・７（札幌市） |

会議等については、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、時期および開催手法が変更となる場合がある。

## 主要行事（令和4年7月8日～令和4年8月4日）

| 月　日 | 行 事 内 容 | 出 席 者 |
|---|---|---|
| 7月8日（金） | 【共】第4回理事会 | 理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事 |
| 14日（木） | 【研】職務発明委員会 | 理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事、法令遵守担当理事 |
| 19日（火） | 【共】農林水産省国立研究開発法人審議会林野部会 | 理事長、各理事、森林保険センター所長 |
| 20日（水）～22日（金） | 【研】吉野熊野国立公園出張 | 理事長 |
| 26日（火） | 【研】第1回リグニンネットワークセミナー | 理事長 |
| 29日（金） | 【研】国立研究開発法人協議会総会 | 理事長、研究担当理事 |
| 8月1日（月） | 林野庁庁議（WEB開催） | 理事長 |
| 3日（水） | 【保】統合リスク管理委員会 | 企画・総務・森林保険担当理事、森林保険センター所長 |

※ 【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事　の略

令和4年8月理事会資料
森林研究・整備機構
森林総合研究所

# 令和4年7月に森林総合研究所が広報した研究成果

| | 広報タイトル | 研究者・担当者名 | 掲載誌名 | 論文公開時期 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | スギ・ヒノキの枡酒から漂う香りには、安らぎや美味しさ等が感じられる | マツバラ エリ<br>松原 恵理<br>（複合材料研究領域） | Wood Science and Technology, 56(3):989-1005 | 2022年3月 | |
| 2 | スギの大木が埋もれた魚津埋没林の直下に存在したもう一つの埋没林 | シチ コウジ<br>志知 幸治<br>（四国支所） | 情報考古学、27巻、11-21、日本情報考古学会 | 2022年3月 | |
| 3 | 九州のニホンジカは増えているのか、減っているのか | ススキ ケイ<br>鈴木 圭<br>（九州支所） | Forests、13巻5号760、MDPI | 2022年5月 | |
| 4 | 森林の鳥132種、繁殖地の平均気温算出し、気候変動影響の指標に | ヤマウラ ユウイチ<br>山浦 悠一<br>（四国支所） | Bird Research 18：A51-A61 | 2022年6月 | |
| 5 | カキの受粉に野生のコマルハナバチが大きく貢献<br>―野生の花粉媒介昆虫を活用した省力的な栽培に向けて― | ナカムラ ショウコ<br>中村 祥子<br>（多摩森林科学園） | Applied Entomology and Zoology.57, pages237-248 (2022) | 2022年6月 | プレスリリース |
| 6 | 外来種駆除後の鳥の増加は「回復」ではなかった！ ―小笠原の鍾乳洞で見つかった骨が明かす鳥類相変化― | カワカミ カズト<br>川上 和人<br>（野生動物研究領域） | Restoration Ecology Volume30 Issue5 | 2022年7月 | プレスリリース |

（シンポジウム・イベント）

| | 名称 | 担当 | 主催等 | 開催場所 | 開催日 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 今年の夏休みは研究だ！夏休み研究相談2022 | 広報普及科<br>広報係 | 森林総合研究所 | オンライン開催<br>（Microsoft Teams） | 7月25日以降で順次調整 | |
| 2 | つくばちびっ子博士2022<br>もりの展示ルーム 夏休み公開 | 広報普及科<br>広報係 | 森林総合研究所 | 森林総合研究所<br>もりの展示ルーム | 7月25日～8月31日<br>平日のみ | 事前予約制 |

注）研究成果については、いずれも国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期計画に定める重点課題等に対応するものである。